様式１　　中 19

平成 26 年度

授業改善推進プラン

練馬区立石神井中学校

１　学力向上を図るための全体計画

○日本国憲法
○教育基本法
○学習指導要領
○東京都、練馬区教育委員会の教育目標、指導の重点

教 育 目 標
○明るく健康な生徒
○正しい判断力をもち主体的に学び行動する生徒
○豊かな情操をもち品位ある生徒

生徒の実態
○素直で温和な生徒が多い。
○課題に対しては熱心に取り組むが、自ら考えて行動することが苦手な生徒もいる。

地域・保護者の願い
○基礎的・基本的な学力を定着させたい。
○行事や部活動を通して、協調性や自主性を身に付けさせたい。

学校経営方針（学力向上に関わる要点）

学習指導要領に示された基礎・基本を重視し、次の力を育成する。
○教科指導を通して、基礎的・基本的な学習内容を確実に定着させる
○物事を正しく判断し、進んで実行する態度を身に付けさせる
○特別支援学級との交流活動を通して、障害のある人への理解を深め他を思いやる心の育成を図る。

各教科の指導の重点

教科指導を通して、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と生徒一人一人を生かす教育の充実に努め、自ら進んで学習する意欲や態度を育てる。

道徳教育の指導の重点

全教育活動を通して、思いやる心を育てるとともに、道徳の時間の指導内容や方法を工夫し、その充実に努める。
地域の人権啓発活動と連携を図り、人権教育を一層推進する。

本校における確かな学力

○学習課題に対する興味や関心を高め、基礎的・基本的な知識や技能を養う。
○学習活動において適切な課題を設定し、自ら考え判断する力を育てる。日常生活において相手や場面に応じて使用できるコミュニケーション能力や情報活用能力を養う。
○「関心、意欲、態度」や「思考、判断」を高める学習により、自ら学習に取り組む態度を育てる。

総合的な学習の時間の指導の重点

問題解決的、体験的な学習を取り入れ、コミュニケーション能力や自ら課題を見つけ・学び・考え・主体的に判断し問題を解決する資質と能力を養う。

特別活動の指導の重点

生徒自ら考え、実践し、表現し、自己評価する活動を推進する。また、体験的な活動を通して、地域社会の一員としての自覚を高め、自己を生かし、集団に貢献する実践力を育成する。

進路指導の重点

総合的な学習の時間を充実させ、自分らしい生き方を実現しようとする態度を育てる。３年間を見通した計画的・系統的な進路指導とキャリア教育を推進し、自らの進路を選択する能力を育成する。

生活指導の重点

基本的な生活習慣の定着と規範意識の高揚を図る。また、生徒の内面を重視した教育相談の充実に努め、自ら考え、判断できる生徒を育成する。

授業改善に向けた具体的な取り組み				
わかりやすい授業づくりに取り組む。	個に応じた指導を重視し、基礎学力の定着を図る。	学校図書館の整備に努め、言語に関する能力を育成する。	各教科の指導・評価計画を見直し、より適切な評価・評定を行う。	３年間を見通した計画的・系統的な進路指導とキャリア教育を推進する。
①互いに指導力を高め合う校内研修を計画的に実施するとともに、教科ごとに公開研究授業を行う。 ②７月に実施する生徒の授業評価アンケートや学力調査の結果をもとに、夏季休業終了までに授業改善プランを作成する。 ③理数フロンティア校として、効果的な教材・指導法の開発、理数教育地区公開講座、理数教育指導力向上研修会を計画的に実施する。	①区の学力向上支援講師や学校生活支援員を活用した複数教員による指導体制を整備し、個に応じたきめ細かな指導を行う。 ②全校で夏季補充教室を計画的に５日以上実施する。 ③定期考査１週間前を活用して、補充教室や質問教室を計画的に放課後実施する。	①全校で朝の読書活動を推進する。 ②図書室の整備に努め、学習センターとしての利用を図る。	①年度当初の教育課程説明会では、評価・評定の説明や配付資料の工夫に努め、分かりやすく説明する。 ②評価・評定に関わる研修を夏季休業終了までに実施する。 ③１学期の評価・評定が出た時点で評定の分布状況を確認し、教科ごとに検証を行う。	①総合的な学習の時間を通じて、様々な分野の職人・芸術家・専門家を招いた講演会を実施し、広い視点から自分の進路を考えさせる。 ②本校の実態に即した進路資料を作成し、有効に活用する。 ③職業調べ、職場訪問、職場体験、上級学校訪問等を計画的に実施し、内容をまとめ、発表する機会をつくる。